

図書館と出会う読書活動「ライぶらり」フォーラム

1 目的

対話的読書活動「ライぶらり」について、重点取組校での実践を通して得られた効果等を報告し、更なる普及を図るとともに、発達の段階に応じた読書活動の推進をテーマとした講演会を開催することにより、「ライぶらり」をきっかけとした子どもの読書活動推進の機運を高める。

2 主催 山口県教育委員会

3 会場 **山口県立山口図書館** レクチャールーム

4 日時 **令和2年1月24日(金)** 11:00～11:40 (希望者のみ)
13:00～16:50 (受付12:30～)

5 日程及び内容 (*天候等の関係で実施できない場合は、1月31日(金)に変更)

時間	内容	講師・実施者	場所
11:00～11:40	「ライぶらり」体験 (希望者のみ)	山口県子ども読書 支援センター職員	第2研修室
12:30～13:00	受 付 (レクチャールーム入り口)		
13:00～13:10	開会行事		
13:10～14:30	【実践発表】 「ライぶらり」紹介及び重点取組校での様子 (検証結果)	山口県子ども読書 支援センター職員 重点取組校教員	レクチャー ルーム
14:30～14:45	【参加者による意見交換会】 ライぶらり実践者を中心に参加者全員で疑問や感想を交流		
14:45～15:00	休 憩		
15:00～16:40	【講演会】 「子供の発達段階に応じた読書活動の推進に向けて～『生涯読書』の基礎を育むために～」	専修大学文学部教授 のぐち たけのり 野口 武悟 氏	

6 対象

図書館職員、子ども読書ボランティア、教諭、司書教諭、学校司書、学校図書館担当事務職員、県市町教育委員会指導主事、学校図書館関係者等

7 定員 100名 (要申込み、先着順)

8 申込方法 別紙参加申込書によりFAX、電子メール又は電話で。

9 申込締切 **令和2年1月10日(金)** (*定員になり次第、締め切ります)

10 申込み・問い合わせ先

山口県子ども読書支援センター (山口県立山口図書館内) 担当: 松本
電 話 (083) 924-2111 FAX (083) 932-2817
メール a50401@pref.yamaguchi.lg.jp

図書館と出会う読書活動「ライぶらり」フォーラム

<講演会講師プロフィール>

講師 **野口 武悟** (のぐち たけのり) 氏

【現職】

専修大学文学部教授 (大学院法学研究科教授を兼務)、放送大学教養学部客員教授も兼ねる。また、東京都教育庁言語活動及び読書活動充実事業推進委員会委員長、大分県立図書館電子書籍実証実験に係る有識者会議座長、神奈川県小田原市図書館協議会委員長、一般社団法人日本子どもの本研究会会長、公益社団法人全国学校図書館協議会機関誌編集委員会委員長、一般社団法人学校図書館図書整備協会理事、NPO 法人ブックスタート理事、学校法人旭出学園評議員などを務める。

【略歴】

埼玉大学教育学部卒業、筑波大学大学院教育研究科修士課程及び大学院図書館情報メディア研究科博士課程修了、博士 (図書館情報学)。

2006 年 4 月に専修大学文学部専任講師に着任し、准教授を経て、2014 年 4 月から現職。

この間、文部科学省子供の読書活動推進に関する有識者会議委員、文部科学省子供の読書活動の推進等に関する調査研究検討委員会委員などを務める。

【主な著書】

- ・『子どもの本：情報教育・プログラミングの本 2000 冊』野口武悟編 日外アソシエーツ 2018 年
- ・『改訂新版 学校経営と学校図書館』野口武悟・前田稔編著 放送大学教育振興会 2017 年
- ・『図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供に向けて』野口武悟・植村八潮編著 樹村房 2016 年
- ・『多様性と出会う学校図書館：一人ひとりの自立を支える合理的配慮へのアプローチ』野口武悟・

<重点取組校>

【山口市立二島小学校】

発表者： 教諭 谷口 麻衣子

【下松市立久保中学校】

発表者： 司書教諭 廣實 英理香

【山口県立小野田高等学校】

発表者： 司書教諭 青池 のぞみ

<山口県子ども読書支援センター>

山口県子ども読書支援センターは、本県の子どもの読書活動を推進するための組織として、平成 16 年 4 月に山口県立山口図書館に設置された。学校図書館との連携を深めるため、平成 21 年度から指導主事を配置し (平成 23 年度から 2 名)、学校図書館向けの事業にも力を入れている。

【発表者及びライぶらり実践者】

主査 松本 直江 (中学校・高等学校担当)

指導主事 岩崎 美佐子 (小学校担当)